

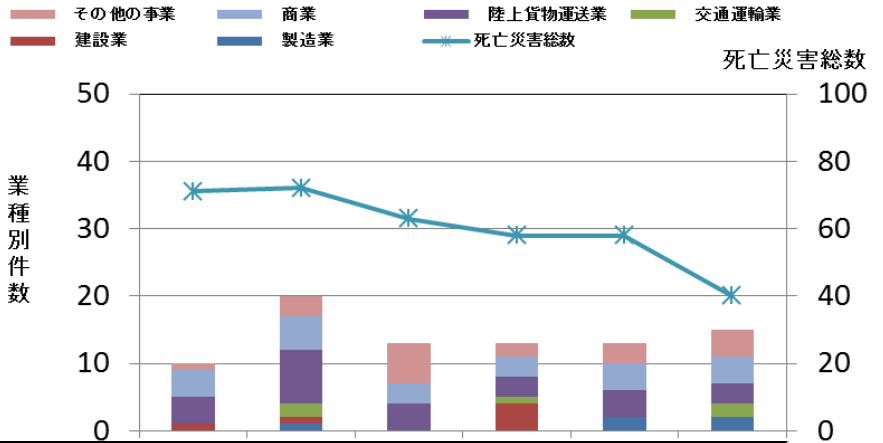
交通労働死亡災害倍増!!

大阪府下における死亡災害は、中長期的には減少傾向にあります。

しかし、交通労働災害にあつては、平成21年の20件以降毎年13件と小康状態を保っていましたがすでにこの水準を超え急増しています。

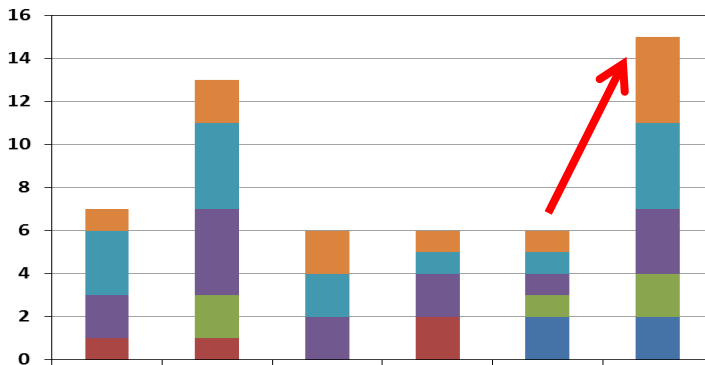


交通死亡災害 年別・業種別推移



	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年 8月
死亡災害総数	71	72	63	58	58	40
製造業		1			2	2
建設業	1	1		4		
交通運輸業		2		1		2
陸上貨物運送業	4	8	4	3	4	3
商業	4	5	3	3	4	4
その他の事業	1	3	6	2	3	4
合計	10	20	13	13	13	15

年別発生状況 同時期比較
(平成20年8月末～平成25年8月末)



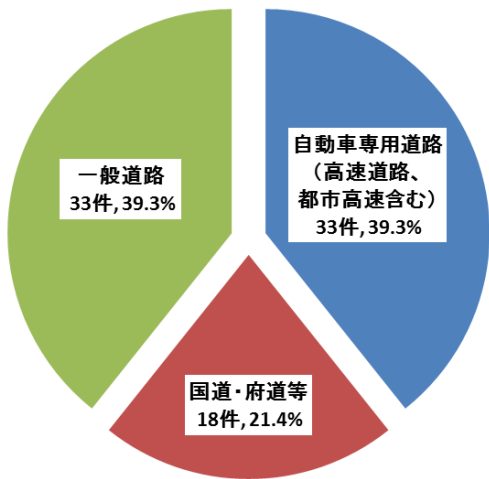
	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年 8月
製造業					2	2
建設業	1	1		2		
交通運輸業		2			1	2
陸上貨物運送業	2	4	2	2	1	3
商業	3	4	2	1	1	4
その他の事業	1	2	2	1	1	4
合計	7	13	6	6	6	15

8月末現在の同時期比較を見ても昨年8月末に比べ、2.5倍となっています。

業種別では、陸上貨物運送事業よりも商業やその他の事業などの第三次産業の割合が高まっています



発生場所別発生状況
(平成20年～平成25年累計)



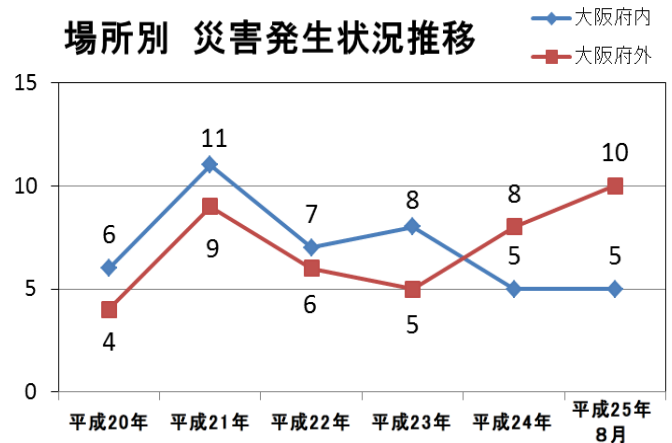
高速道路などの自動車専用道路での走行時は特に注意！
常に道路状況の把握に努めよう。



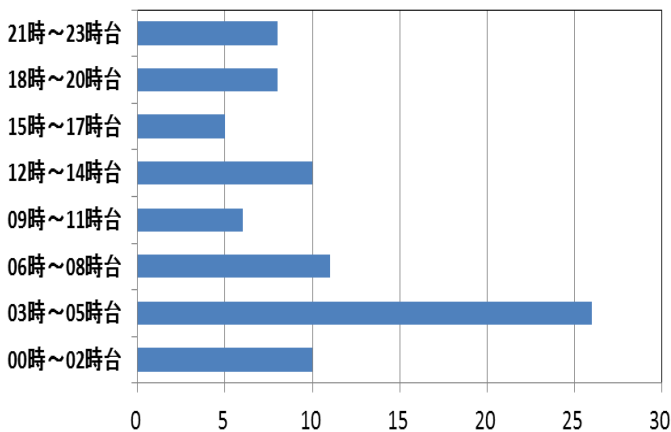
大阪以外での災害が増加。
他府県へ行く場合は、
要注意！
交通安全情報マップ
を作成しよう



場所別 災害発生状況推移



時間帯別発生状況
(平成20年1月～平成25年8月累計)



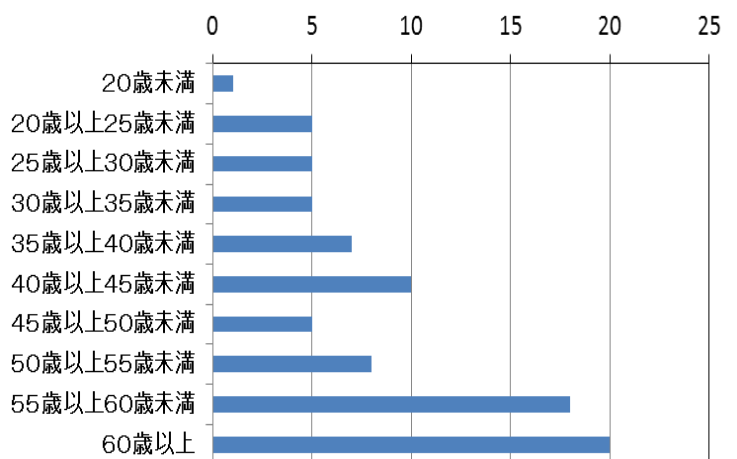
深夜の時間帯での災害が多発。
十分な休憩を!!
連続運転は4時間以内に



高齢労働者の事故が多発！
自分自身を過信しない
(身体機能の低下)
安全運転教育を受講
しましょう。



年齢別発生状況
(平成20年1月～平成25年8月累計)



交通労働災害を防止するためには、業種に関係なく運転者自身が管理・監督者等の目が届かない場所で、刻々と変化していく走行状況に対して、常に的確な判断で安全な運転操作ができる知識や技能を修得するとともに第三者に対する思いやり、譲り合いの気持ちを涵養し、常に安全な運転を心がけることが不可欠です。

また、交通労働災害は業務との密接な関係の中で発生するものであり、一般の労働災害と同様に総合的かつ組織的に交通労働災害防止対策に取り組む必要があります。

このため、厚生労働省では「交通労働災害防止のためのガイドライン」を示して、交通労働災害対策の推進を図っています。

同ガイドライン並びに適切な時間管理を図るための「自動車運転者の労働時間等の改善基準」に基づき交通労働災害防止対策を積極的に講じて下さい。

交通労働災害防止のためのガイドライン（抜粋）

第1 目的

第2 交通労働災害防止のための管理体制等

- 1 交通労働災害防止のための管理体制の確立
- 2 安全衛生方針の表明、目標の設定、計画の作成、実施、評価、改善
- 3 安全委員会等における調査審議



第3 適正な労働時間等の管理及び走行管理等

- 1 適正な労働時間等の管理及び走行管理等
- 2 適正な走行計画の作成等
- 3 点呼等の実施及びその結果に基づく措置

走行計画に休息時間の定めをした場合には交通労働災害等が発生しにくくなります。

普段の睡眠時間が5時間未満、勤務前24時間の総睡眠時間が5時間以下である場合、交通労働災害等が発生しやすくなります。

また、睡眠不足が累積した場合、視覚刺激に対する反応ができなくなる回数が増加します。

第4 教育の実施等

1 教育等の実施

(1) 雇入れ時等の教育

交通法規、改善基準告示等の遵守、睡眠時間確保の必要性、飲酒による運転への影響、睡眠時無呼吸症候群の治療、体調の維持等に関する事項等について教育を行いましょ。また、必要に応じ、ベテランの添乗による実地訓練を行いましょ。

(2) 日常の教育

改善基準の告示等の遵守、睡眠時間確保の必要性、交通事故情報、デジタルタコグラフ、ドライブレコーダーの記録等から判明した安全走行に必要とされる事項、交通安全情報マップ、関係法令等について教育を行いましょ。

(3) 交通危険予知訓練

イラストシートを用いて潜在的危険性を予知させ、防止対策を立てさせる交通危険予知訓練を実施するようにしましょ。

2 運転者認定制度等

運転者に対する教育の項目が増加すると交通労働災害等が発生しにくくなります。

第5 交通労働災害防止に対する意識の高揚等

- 1 ポスターの掲示、表彰制度、交通労働災害防止大会の開催等により、運転者の交通労働災害防止に対する意識の高揚を図りましょ。
- 2 交通事故情報、デジタルタコグラフやドライブレコーダーの記録、ヒヤリハット事例等に基づき、危険な箇所、注意事項等を示した交通安全情報マップを作成し、配布、掲示を行いましょ。

意識の高揚のための活動の項目が増加すると交通労働災害等が発生しにくくなります。特にデジタルタコグラフやドライブレコーダーを車両に取り付けることも大変有効です。

第6 荷主・元請事業者による配慮等

第7 健康管理

- 1 健康診断の実施とその結果に基づく措置
- 2 面接指導等
- 3 心身両面にわたる健康の保持増進
- 4 運転時の疲労回復

第8 その他

- 1 異常気象等の際の措置
- 2 自動車の点検
- 3 自動車に装備する安全装置等



車を運転する時の交通安全意識を高めましょう。

ヒヤリ・ハット活動

ポスターの掲示



無事故表彰

運転者認定制度

危険予知訓練
(KYT)

安全大会

事故写真の掲示

[安全運転 5 則]

- 1.安全速度を必ず守る。
- 2.カーブの手前でスピードを落とす。
- 3.一時停止で横断歩行者の安全を守る。
- 4.交差点では必ず安全を確かめる
- 5.飲酒運転は絶対にしない。



[高速運転 5 則] (高速道路編)

- 1.「安全速度」を守る
- 2.十分な「車間距離」をとる
- 3.「割り込み」をしない
- 4.「脇見運転」をしない
- 5.「路肩を走行」しない

平成 25 年 死亡災害発生状況

番号	発生日	業 種	性別	年齢	職 種	経験	起因物	発生状況
1	2月	新聞販売業	女	70代	配達員	15年	乗用車、バス、バイク	朝刊配達中にバイクを停めて、道路向かい側の配達先宅へ行くため車道を横断中車にはねられた。
2	3月	一般貨物自動車運送業	男	40代	貨物自動車運転手	27年	トラック	高速道路のサービスエリア(SA)付近で発生した事故を避けようとしてSAの進入路へ入った被災者運転のトラックがサービスエリアの進入路入り口付近で立ち往生していた一般自動車に追突した。さらにその後被災のトラックはバスに追突した。
3	3月	ハイヤータクシー業	男	60代	乗用自動車運転者	14年	乗用車、バス、バイク	客を乗せ走行中ハンドル操作を誤り電話ボックスに激突したりバス停の標識柱を倒したりして歩道を約70m暴走した。
4	4月	新聞販売業	女	50代	配達員	25年	乗用車、バス、バイク	新聞配達のため自転車で配達先に向かう途中車道でワゴン車にひかれた。
5	4月	その他の事業	男	60代	その他の職種	5年	乗用車、バス、バイク	高速道路において渋滞のため減速していたところ普通乗用自動車に追突された。
6	5月	一般貨物自動車運送業	男	30代	運転者	6年	トラック	国道を走行中、前に停車したカーキャリア車に追突した。
7	5月	ハイヤータクシー業	男	50代	運転者	35年	乗用車、バス、バイク	交差点において、進路変更したところ直進してきたトラックと衝突した。
8	5月	その他の事業	男	20代	作業員・技能者	2年	乗用車、バス、バイク	パチンコの新台設置作業終了後、作業員7名で国道を走行中、中央分離帯の壁に衝突したのち外側のガードレールに衝突した。
9	5月	その他の事業	男	30代	作業員・技能者	0年	乗用車、バス、バイク	パチンコの新台設置作業終了後、作業員7名で国道を走行中、中央分離帯の壁に衝突したのち外側のガードレールに衝突した。
10	5月	その他の事業	男	20代	作業員・技能者	3か月	乗用車、バス、バイク	パチンコの新台設置作業終了後、作業員7名で国道を走行中、中央分離帯の壁に衝突したのち外側のガードレールに衝突した。
11	6月	その他の卸売業	女	20代	営業・販売関連事務員	3年	乗用車、バス、バイク	営業車で国道を走行中対向車線側へ逸脱し、対向車線を走っていたトラックと正面衝突した。
12	6月	機械修理業	男	30代	機械修理工	7年	乗用車、バス、バイク	軽ワゴン車に乗り走行中、前方にバンクのため停車していた高所作業車に追突した。
13	6月	電子機器・通信機器用部品製造業	男	40代	営業・販売関連事務員	8年	トラック	高速道路で、前方が渋滞していたため40km/hで走行中におよそ90~95km/hで走行していた後続車に追突された。
14	7月	新聞販売業	男	70代	運転者	2年	乗用車、バス、バイク	原動機付き自転車で朝刊配達中、交差点で出合い頭に軽乗用車と衝突した。
15	7月	一般貨物自動車運送業	男	70代	貨物自動車運転手	1年	トラック	国道を走行中、赤信号で停止していた大型貨物自動車(10t)に追突した。